

「新たな時代に」

代表取締役会長 河内 一友

昨年、MBS は開局 65 周年を迎え、周年の記念事業を無事に終えることができた。皆さんの尽力で喫緊のテーマであったプライム 3 枠の強化は『プレバト!!』が牽引し、概ね順調に推移している。また全日では『ちちんぷいぷい』『VOICE』などの帯番組が安定した数字をはじき出している。そしてラジオは昨年、そして今年と前年を上回る売り上げを記録している。こうした時期での認定放送持株会社への移行は絶妙なタイミングではないかと思っている。放送を取り巻く環境の変化はこの数年、何度となく語られてきた。しかし、昨年、この流れは一気に加速した。そのキーワードとなったものが「4K」「BS4K 右旋、左旋」「常時同時配信」である。この 2～3 年はこの重要な課題に対応し、答えを出していくことになる。

認定放送持株会社は、この課題に対応していくための経営基盤の再構築に有用であるとも考えている。2017 年 4 月 1 日、MBS メディアホールディングスが土台となって、毎日放送、GAORA、放送映画製作所、MBS 企画などをサポートしていくことになる。将来、こ

の中にどのような会社が入ってくるかは、この数年の進展如何であろう。しかし、忘れてはならないのは、我々の拠り所、そして最強の商品は「コンテンツ」だということだ。MBSグループのメディア各社を有機的に機能させ「コンテンツ」の価値の最大化を図るべく、新たに「総合企画局」をホールディングスに設けた。グループ各社は「創造力溢れるコンテンツを制作し」「コンテンツの権利を守り」そして「確実に送る届ける」ために互いにどのように連携しあえるのかを考えていこう。そのためにも、新規事業開拓を積極的に押し進める方針である。

変革に向けた全社の意識改革と共有が一層進むよう期待する。